

凧部日記 06 号

三年間、凧作りと大凧合戦を経験して（2017/06/21）

僕は三年間、凧作りと白根大凧合戦を通してさまざまな経験をしました。

一年生の頃は、先輩たちがいてくれたおかげで、何とか凧を作ること、凧をあげることができました。初めての大凧合戦の結果は 38 位とあまり良くはありませんでしたが、とても充実した大会となりました。

二年生になって、凧を作り始めた頃に、U×新潟テレビ 21 が取材に来てくれて、テレビに出演することも経験しました。県内の人たちに、うまく白根高校と白根大凧合戦の名前を PR できたか分かりませんが、素晴らしい体験をさせてもらいました。迎えた二度目の大凧合戦は前年以上にみんな団結して凧を揚げた結果、29 位と順位を上げることが出来ました。合戦終了後に部長であった先輩から「来年は頼むぞ」と新部長に指名され、17 年間生きてきた中で、初めて「部長」をやることになりました。

部長として三年生になると、書類の提出だったり、部活動紹介や壮行会だったり、様々な仕事がありました。顧問の先生に助けられながら、一つひとつ、何とかこなしてきました。そして、朝日新聞の取材などを経て、三年間の集大成となる白根大凧合戦を迎えました。全員が一生懸命に凧揚げをして、何とか一回勝つことができました。凧合戦が終わった瞬間、最高の達成感と充実感を味わいました。日曜日の合戦終了後、白根小学校の駐車場で感謝の言葉を部員たちに言って、僕の最後の大凧合戦が終わりました。

僕は凧部の部長として、「らしいこと」なんてあまりできませんでしたが、顧問の先生や前部長、OBにOG、名人といった様々な人に支えてもらったお陰で、どうにか部長としての活動をまっとうすることができましたし、素晴らしい経験をさせてもらったと思っています。三年間、本当に有難うございました。

3年生男子（NY）

